



市内のバス路線は、琵琶湖大橋方面と守山駅を結ぶレインボーライン（木の浜線・琵琶湖大橋線）を基幹路線として、そのほか服部線、小浜線、杉江循環線、下物線、市民ホール線の5路線があります。

また、草津市、栗東市と共同運行しているコミュニティバス「くるっとバス」も、大宝循環線と宅屋線の2路線運行しており、いずれも守山駅を起終点としています。

バス停からの500m圏域をみると、一部の地域を除き、おおむねバス路線がカバーしており、交通空白地域は少ないことがわかりますが、駅へ向かう路線のみのため、市域を横断的に利用するには守山駅を一旦経由する必要があります。

また、市内にはタクシー事業者が2社あり、バスと補完し合うことで公共交通を提供しています。

既存バス路線の補完を目的に、交通空白地域の解消のため、デマンド乗合交通「モーリーカー」が市内全域を運行しています。

しかしながら、公共交通をとりまく状況は、利用者の減少や乗務員不足など厳しい環境にあることから、令和6年3月に「守山市地域公共交通計画」を策定し、将来にわたり誰もが安心して移動できる環境づくりを進めています。